

栃木市

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等の ICT 環境を活用して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るとともに、主体的・対話的で深い学びがより達成できるよう授業改善に取り組むことで、児童生徒自身が学習形態や学習方法を選択し、自分自身の特性や理解度、進度に合わせ学ぼうな、児童生徒が中心となった学びの姿を目指す。

2. GIGA 第1期の総括

令和2年度に1人1台端末及び通信ネットワーク環境の整備を行い、令和3年度以降 ICT の活用を推進してきた。一定の授業改善は図られたが、教員間の意識や知識の差により ICT の活用に格差がある事に加え、1人1台端末の起動やレスポンスが遅いこと、ネットワーク環境が不十分であること等から端末を使用しにくい場面もあり、未だ ICT を活用しきれていない面がある。このため、教員への研修対応に加え、十分な ICT 環境の整備を検討する必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

途切れなく端末を利活用できるよう、共同調達により計画的に端末を整備・更新し、ICT 環境を維持した上で、以下の点に取り組む。

(端末の積極的活用)

- ・端末の日常的な活用に係る教職員を対象とする ICT 研修の充実を図る。
- ・端末を快適に利用できる環境にするため、端末の更新により、起動やレスポンスの問題の解消を図る。

(個別最適・協働的な学びの充実)

- ・学習支援ソフトやクラウドサービス等における先進的な活用事例を市内で共有するため、教職員を対象とする研修や市教育委員会職員による学校訪問を実施し、習得・活用・探究という学習過程の中で自ら学習を調整することを通して学びを深め、広げるための端末の効率的な活用を支援する。

(学びの保障)

- ・多様な児童生徒の教育的ニーズに対応するため、端末の持ち帰りによる家庭学習やオンラインでの授業配信等、端末を活用した学びの保障に係る方策を検討し、順次実施していく。